

# 第1章 青梅の自然 ～身近な環境を考える～

青梅市は東京都の西部に発達する武蔵野台地の要の部分に位置します。図表1の航空写真を見ますと、大変美しい緑の山々に囲まれ、多摩川をはじめとするいく筋かの河川が西から東に向かって流れる、自然の豊かな地域であることが分かります。

武蔵御岳山や高水三山や周辺の小高い丘陵部、そして多摩川の周辺はハイキングコースとして、多くの人々に親しまれています。また、それらの地域では、野鳥や野草なども数多く見ることができます。

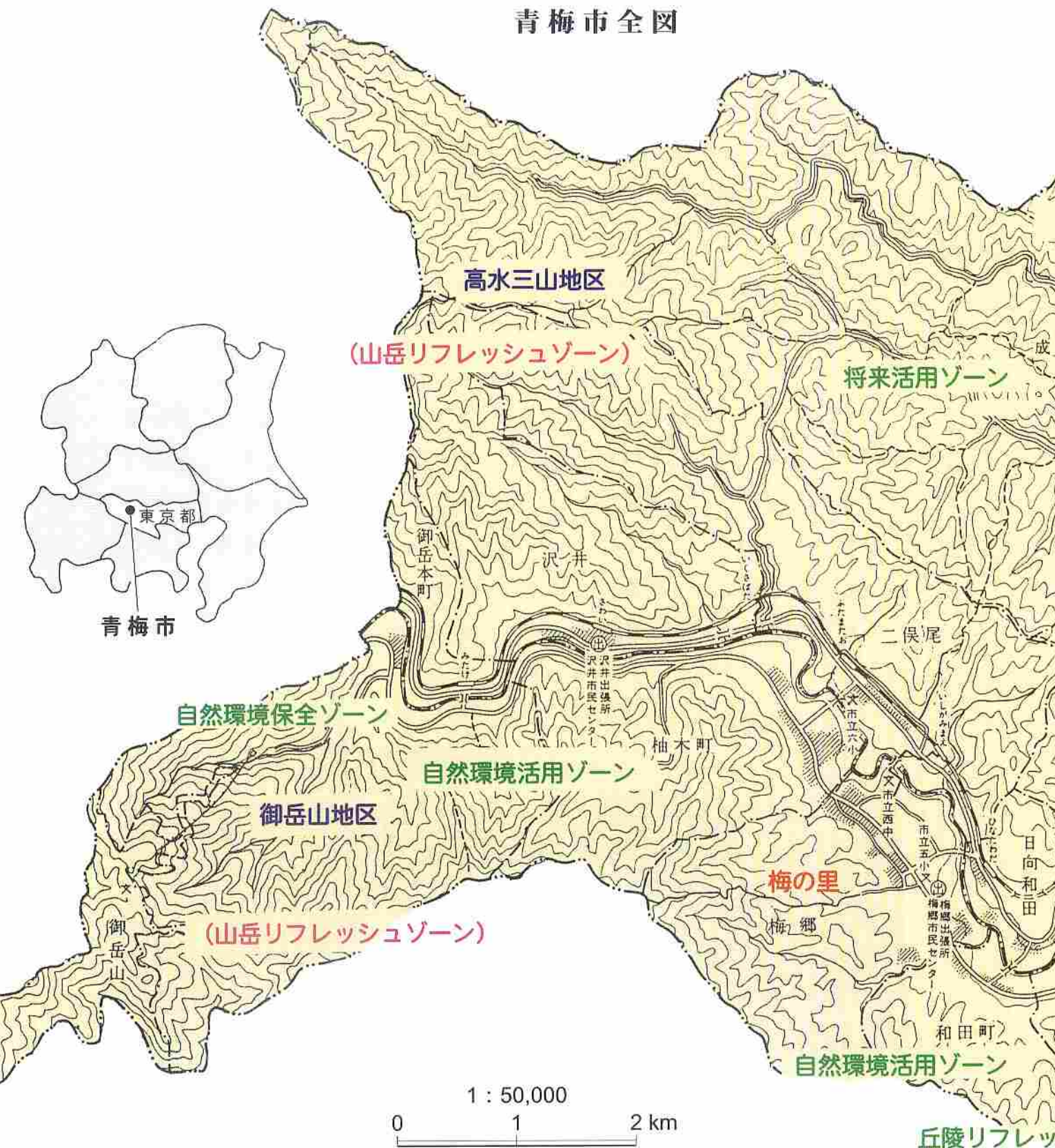
しかしながら、開発にともなって、かつて私たちの身近にあった豊かな自然が少しずつ遠のいているような気がします。それに呼応するかのよう  
に、自然を守ろう、今ある自然を大事にしようという意識が青梅市でも高まってきました。私たちも「美しい青梅 ー青梅市中学校環境教育副読本ー」を活用しながら、青梅の自然をもっと知り、環境問題とその解決に向けた取組みについて関心を高め、そして環境と身の回りの生活とのかかわりについて考えてみましょう。

はじめは、青梅の自然について学習します。



図表1

# 青梅市全図





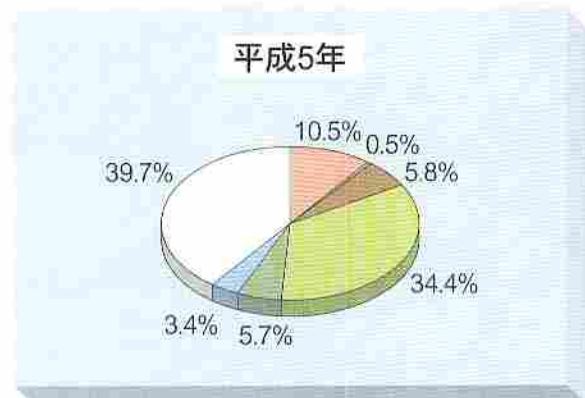
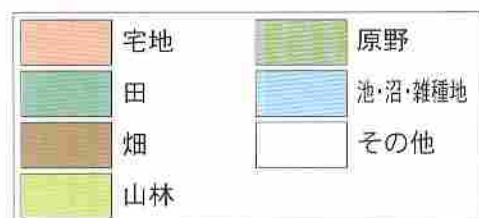
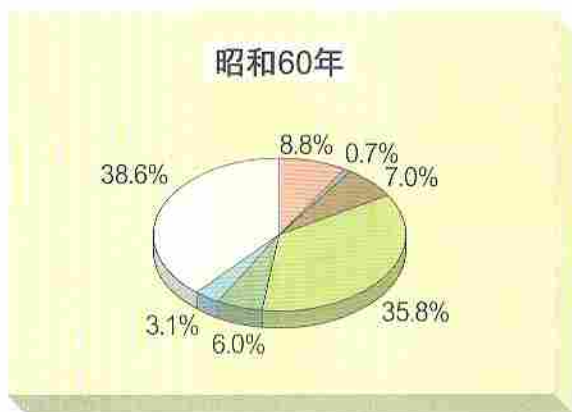
## 1 青梅の地形

青梅市の面積は103.26km<sup>2</sup>と『青梅市の統計』に記載されています。東西に17.2km、南北に9.0kmの広がりをもっています。

北側に成木川をはさみ、埼玉県の名栗村、飯能市に接し、平野の広がる東側に入間市、瑞穂町、羽村市、南側にあきる野市、日の出山を境に日の出町に接し、西側に奥多摩町があります。その中央を笠取山（山梨県）に源流を持つ多摩川が流れ、山あいから開けた平野部に位置するのが青梅市です。多摩川はそのまま東に流れ、神奈川県川崎市と東京都大田区の境界を作りながら東京湾に到達します。青梅市でいちばん高い山は御岳山(929m)の奥にある鍋割山(1084m)です。そのほか、日の出山、高水三山などの数百mの山々も近くにあります。山にはいく筋も川が流れ、青梅の地が豊かな地層であることをうかがわせています。

このような青梅市の土地がどのように使われているか『青梅市の統計』から見てみましょう。グラフを見て分かるとおりに宅地が増え、同時に田畑の減少が進んでいますが、全体の割合からみれば小さいといえるでしょう。

### 地目別面積



(青梅市の統計—平成5年度版—より)